地域の暮らしを話す会

平成30年度実施報告書









社会福祉法人 泉佐野市社会福祉協議会



目 次

地域の暮らしを話す会(住民座談会)とは	р2
平成 30 年度実施報告	р5
地域の暮らしを話す会の効果	р7
S地区の意見詳細】	
日新地区	р13
佐野台地区	p15
北中地区	p18
三小地区	p21
末広地区	p23
一小地区	p27
長滝地区	р32
上之郷地区	p35
大土地区	р37
長坂地区	р39
日根野地区	p43
南中地区	p47
中央地区	p51
二小地区	p53
	平成30年度実施報告 地域の暮らしを話す会の効果 お地区の意見詳細】 日新地区 佐野台地区 北中地区 三小地区 末広地区 一小地区 長滝地区 上之郷地区 大土地区 長坂地区 日根野地区 南中地区 中央地区

地域の暮らしを話す会(住民座談会)とは

1.地域の暮らしを話す会(住民座談会)ってどんなもの?

→地域の困りごとを地域住民で話し合って把握する場です

「住民座談会」とは、例えば「小地域」ごとに住民の皆さんが1か所に集まって、『地域』の現状や課題(いいところや困りごとなど)を話し合って把握し、地域の将来像を考えあう場のことです。住民座談会で出たことは「地域福祉活動計画」に反映されるので、自分たちが「住み続けたい」地域の将来像を実現する手がかりとなります。

座談会がなぜ 必要なの? 3つの理由があ ります。

2.住民座談会がなぜ必要なの?

→豊かに安心して住み続けられる地域社会づくりのために

最近、家族や地域住民間のつながりが希薄になってきたと感じることはありませんか。日本では今、そうした社会状況が進む中で、虐待・ひきこもり・暴力・自然災害の対応・自殺など、社会問題が多様になり複雑化しています。 私たち住民の多くは、地域で安心して豊かに住み続けられることを願っています。 そのためには、だれもが地域から孤立することなく、いろいろな生き方を認め合い、つながりを持ちながら生活できる新しい地域社会をつくっていくことが必要です。

→地域のことは、地域できめていくために

「自分たちの生き方やそれに合った地域づくりは、自分たちで決めていこう」といった市民活動の動きが、各地で活発になりつつあります。

新しい地域社会をつくるには、住民の皆さん自らが地域の現状を把握し、「住み続けたい」「住んでみたい」「住みやすい」地域の将来像を考え、それに向かって実践していくことが必要です。

地域のいいところをみんなで 見つけてのばしていこう!

→自分たちの地域の課題を改善しより良い地域をつくっていく



目的は「地域の福祉を推進していく」 誰もが安心して豊かに生活できる地域 づくりを実現していくことにあります。地域のそれぞれの実情にあった福祉を進めていくには、まず身近な地域において住民の皆さん自らが望む地域をつくることが大切です。

引き続き地域の課題を確認し、地域の将来像を語り合う、その時々の時代にあった 地域つくりのために「地域の暮らしを話す会」で住民参加の機会を中心として、住民 の皆さん自ら主体的に参加するようすすめていきましょう。



■小地域って?

小地域とは「住民の顔がみえる地域のこと。その単位は、小学校区や町会・自治会です。地域の実情によって定めましょう。住民の皆さん自ら地域の課題を見つけ、解決していくことが可能な単位です。

★地域の暮らしを話す会は、それを行うことが目的ではありません。話す会を活かして、 自分たちが住み良い地域、安心して暮らせる地域をつくっていくことが目的です。

> 参考文献:山口県社会福祉協議会、平成 18 年 3 月 「地域で住民のみなさんが住民座談会を開くための手引き」

3. どんな形で運営するの?

→意見を出しやすい形を、地域とテーマにあわせて

「地域の暮らしを話す会」の運営方法については、様々な方法が考えられますが、大切なのは、「特定の参加者に発言が偏らない」「建設的に話がすすむこと」です。

参加者が多いと、ひとりひとりが話すことのできる時間が減ってしまうため、しっかりとした議論をすすめることが難しくなってしまう場合もありますので、テーマや会場にあわせて、適切な呼びかけ方法を検討することが大切です。

★地域の暮らしを話す会のすすめかた(例)

司会進行:社協CoW(地区担当者)

時間	内容
開始~15分	趣旨説明・自己紹介など
15 分~20 分	テーマの発表・説明
30 分~35 分	テーマに対するアイデアを各自でふせんに書く
35 分~65 分	ふせんをもとに、グループごとで話し合い
65 分~90 分	各グループで話し合った内容の発表

※地区ごとのテーマにあわせて、進行についても、上記以外に様々に工夫をこら して行いました。

【※メモ】

自分の意見を「ふせん」に書くという作業には、2つの意味があります。

- ①ロ下手な人でも意見を表明できる
- ②後で記録をまとめるときに「発言者の属性を外す」 (「誰が言ったか」ではなく「どんな意見か」を重視できる)

少し手間ですが、みんなで意見を出し合う時には大切な手法です。



★参加者募集のしかた(例)

- 口福祉委員会役員 口各種団体役員に協力依頼
- □市報や回覧板と一緒に全世帯に案内 □地区内の福祉施設にも案内

平成 30 年度実施報告

1) 開催状況

泉佐野市社会福祉協議会では、泉佐野市と協働で平成25年度・平成26年度の2か年をかけて「第2次泉佐野市地域福祉計画・地域福祉活動計画(いずみさのみんなの絆プラン)」の2つの計画を作成しました。

計画の策定にあたり、平成25年度に市内の14地区で2回ずつ、「地域の暮らしを話す会」を行い、そこで出た意見を「いずみさのみんなの絆プラン」に反映したり、新たな取り組みをすすめるための材料にしたりしました。

そういった中で、平成 27 年に完成した「いずみさのみんなの絆プラン」において、「計画の普及をはじめ、地域から出される新たな課題を本計画見直し時に反映」するための場として、地域の暮らしを話す会が位置づけられたことから、行政と社協、CSWが協働で取り組んで行くことになりました。計画施行4年目にあたる平成 30 年度については、9月から 2 月までの間に各地区 1 回開催し、自分たちの日々の活動に関するテーマを中心に話し合いました。

《平成30年度「地域の暮らしを話す会」 開催日時・場所・参加人数一覧》

地区	В	時	場所	人数
日新	11月18日(日)	13 時 00 分~	上瓦屋町会館	31 人
佐野台	9月22日(土)	14 時 45 分~	佐野台集会所	31 人
北中	11月16日(金)	19時30分~	鶴原町会館	25人
三小	9月15日(土)	10 時 00 分~	旭町会館	12人
末広	12月13日(木)	19時00分~	南町集会所	35人
一小	2月15日(金)	19時00分~	野出町会館	41 人
長滝	12月5日(水)	19 時 00 分~	長滝第一町内会館	39人
上之郷	10月30日(火)	19時00分~	上之郷小学校多目的室	19人
大土	12月8日(土)	19時00分~	土丸会館	33人
長坂	10月16日(火)	19 時 00 分~	次世代育成地域交流センター	35人
日根野	11月17日(土)	19時00分~	日根野町会館	38人
南中	11月5日(月)	19時00分~	南部市民交流センター	22人
中央	11月10日(土)	10時00分~	幸町会館	11 人
二小	10月26日(金)	19 時 00 分~	高松総合会館	14人

のべ参加者数 386人

2) 当日の内容

平成30年度は台風21号により市内全域に大きな被害がありました。災害によって自分たちの地域にどのような被害があったのか。地域住民同士の助け合いでできたこと、困難

だったこと等「災害」「防災」をテーマにとりあげた地区が多くありました。これは、いざという時に備え、地区福祉委員会において日頃から取り組みが必要なことについて、「自分たちの地域にとって必要なことを自分たちで話し合う」という住民座談会の趣旨に沿ったものです。

《平成30年度の話し合いテーマの一覧》

地区	テーマ(事前提示)
日新	あらゆる災害に備えて
佐野台	支部と町内の他団体の連携について(町会、長生会、自主防災会、子ども会など)
北中	台風 21 号について考える
三小	安全なまちづくり
末広	防災について「台風 21 号の振り返りも含めて」
− /J\	防災について「台風 21 号を振り返って」
長滝	台風 21 号を振り返る~今、考えなければならないことは?~
上之郷	台風 21 号を振り返る
大土	福祉委員会の現状と今後について
長坂	台風 21 号について考える
日根野	福祉委員会主催の活動について振り返ろう~次年度の役員改選に向けて~
南中	防災の取り組みについて〜あの時私は…〜
中央	「地域の防災」今年の災害経験(台風 21 号)の教訓を活かそう〜将来に備える
4X	ために
二小	防災について

日頃から地域の福祉活動に取り組んでいる方々が、地域にどのような課題があると感じ、 そのためにどのように取り組めばよいと考えているかを明らかにすることは、今後の地域 福祉の充実を図っていくうえで非常に大切な情報になります。

似たようなテーマを選んでいてもその地域のもつ歴史性や地理的条件によって出席者の 意見は異なります。

地域の暮らしを話す会の効果

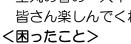
地域の暮らしを話す会で出た意見を参考にしながら、具体的な取り組みにつながった事例 が生まれてきています。

●土丸支部福祉委員会の花見大会の取り組み

平成30年度 地域の暮らしを話す会

【福祉委員会活動の現状と今後について】

- ●各活動の振り返り
- (土丸支部花見大会について)
- **<内容>**世代間交流
- **<人数>140**名程度
- くよかったこと> 土丸の春の一大イベント 皆さん楽しんでくれる



担い手不足・固定化 皆が楽しめる企画を考えるのが大変

【社協からのワンポイントアドバイス】

- 〇地域のつながり・助け合いの輪を広げていくためのヒ ント
- ★支える側・支えられる側にとらわれない『ささえあい』 ⇒役割がある場所は居場所になる
- ★これからの地域を担う若い世代の力をいかす
- ★『これならできる』役割分担の工夫
- ★地域に目を向けると新たな協力者が
- ⇒『施設・事業所との連携』



地域の動き

- ○地元の施設である(福)清光会に話しをしてみようかと社協に相談する
- ○社協から清光会内で和太鼓活動をしている『韻』を紹介
- 〇地域の方と『韻』で打ち合わせを行い花見大会にて太鼓の演奏をしてくれることに!



成果



- ○地域の暮らしを話す会にて、土丸支部福祉委員 会の活動を振り返ったことで、活動の整理が出来 た。また社協から地域活動を行う上でのワンポイ ントアドバイス講座を行い、その場で有意義な情 報を持ち帰ってもらった。
- ○当日は地域住民の方や、登山に来ていた観光客 の方も大勢集まり、例年よりも幅広い層の参加が あった。



『施設・事業所との連携』の効果

(地域)

- ○地域の活動に協力してくれる施設が地元にある ことが分かり、活動の幅が広がった!
- (施設)
- ○障がいのある利用者さんたちの地域における太 鼓の披露の場になり、地域社会との接点の場にな った!



★地域に目を向けると新たな協力者★ お互い支え合いながら 活動を広げることができた♪



②平成30年台風21号被害の経験を今後に活かすために

災害は、わたしたちが暮らす地域にある生活課題が顕在化するきっかけとなります。今回の平成30年台風21号の被害として、数日間~1週間の停電が発生したり、倒木により生活道路が使用できなくなったり、家屋の一部損壊も多く報告されました。

普段の生活を送ることが困難な状況で、みなさんがどのよう 「「「」」」 に感じ、動いたのか。日頃からの取り組みが活きたのか。今後に備えて必要なことはな にか。「地域の暮らしを話す会」ではそれぞれの経験を持ち寄り、活発な意見交換が行わ れました。地域で話し合われた内容から共通するものをご紹介します。

困ったこと・課題

地域で取り組めたこと

今後の取り組み

【情報伝達に関すること】

- ●必要な情報が伝わらない。伝わるのが遅い。
- ●高齢者はインターネットの情報を入手できない
- ●放送の声が聴きとりに くい。
- ●臨時の回覧板を回し た。
- ●罹災証明書の様式を組 長を通じて配布した。
- ●隣近所で声をかけあう
- ●連絡網の整備
- ●日常から情報を把握し ておく

【災害瓦礫等の片づけに関すること】

- ●集積所のマナーが守ら れていなかった
- ●空き家の片づけ
- ●高齢者は瓦礫の撤去が 難しい
- ●倒木が道をふさいで通 れなかった。
- ●近所で助け合った。
- ●青年団・保存会の動員 が早急にできた。
- ●町会で軽トラをだし た。
- ●日頃からのマナーの啓 発
- ●各町会で助け合う体制 づくり

【安否確認に関すること】

- ●一人暮らしの方にどれだけ対応できたか不安
- ●高齢者のことをもっと 気にかければよかった
- ●隣近所の安否確認が早 かった。
- ●住民が協力的だった。
- ●ネット対象者に声かけ に行った。
- ●要支援者の安否確認の ルールづくり
- ●黄色のタオルの活用
- ●普段から訪問し知り合 いになっておく

増えています!誰もが集えるコミュニティカフェ

地域の暮らしを話す会では、「地域の人たちが気楽に集える場」「互いに顔見知りになる機会」の必要性を求める意見が多くでていました。また、「町会館の有効活用」「町会について知る機会」の必要性をみとめる声もあがっています。このような声に対する解決策の一つとして、カフェ活動が広がりを見せてきています。

コミュニティカフェのポイント&メリット			
①定期的に開催している	その日にいけば、誰かに会える、という安心感。 閉じこもり防止につながる。		
②誰でも参加可能	互いに顔見知りになる機会になる。		
③自由に入退室可能	自分のペースで参加できる。(体調や都合にあわせて 参加できる)		
④自由に話ができる	困りごとの発見や支援の情報提供がされたり、 新たな企画のアイデアが生まれたりする。		
⑤身近な場所で開催	地域内にある資源の有効活用、地域への愛着をうむ		

地区福祉委員会が行っているカフェ型活動(令和元年5月現在)

実施地区	場所	開催日時
一小地区 松原団地住宅「ふれあい喫茶」	松原住宅集会所	毎週火・木・土 9:00~12:00
三小地区「旭町カフェ」	旭町会館	毎月第3木曜日 13:00~15:00
日新地区「上瓦屋ラウンジ」	上瓦屋町会館	毎週水曜日 13:00~16:00
一小地区「サロンド松原」	松原町会館	毎月第1・3日曜日10:00~12:00
佐野台地区「西佐野台げんきカフェ」	西佐野台町会館	毎月第3土曜日13:30~15:30
中央地区「松風台サロン」	松風台自治会館	毎月第2金曜日15:00~17:00
佐野台地区「南泉ヶ丘よりみちカフェ」	南泉ヶ丘町会館	毎週木曜日(第2週除く) 13:00~15:00
中央地区「なかまちカフェ」	中町町会館	毎月第3水曜日10:00~12:00
長滝地区「新長滝カフェ」	長滝住宅集会所	毎月第3土曜日もしくは第3日曜日
		9:00~11:30
一小地区「西本町カフェ」	西本町町会館	毎月第3日曜日10:00~12:00
日根野地区「西上カフェ」	西上町会館	毎月第2水曜日13:30~15:30
末広地区 東羽倉崎自治会・東羽倉崎	東羽倉崎自治会集会所	毎月第4金曜日 11:30~13:30
「おしゃべりカフェ」		
末広地区 羽倉崎上町「スマイルカフェ」	羽倉崎上町会館	毎月第2金曜日 13:30~15:30
三小地区「しんまち茶論」	新町会館	毎週水曜日 10:00~12:00
日根野地区「野々地蔵カフェ」	野々地蔵会館	奇数月第4木曜日 13:00~15:00

	I
平成 26 年度	買物支援の取り組みが動いた事例
実施報告書	成年後見に関する取り組みを後押しした事例
	長滝中ノ番子育てサロンの設立
平成 27 年度	旭町カフェの設立
実施報告書	町会加入を促進するための上之郷地区福祉委員会の取り組み
	買物支援の取り組みが動いた事例(27年度の取り組み加筆版)
平成 28 年度	中町カフェの設立まで
実施報告書	樫井東自主防災会の設立と防災訓練の実施まで
	西上カフェの設立まで
平成 29 年度	PDCA サイクルを取り入れた災害に強いまちづくりに向けた取り
実施報告書	組み【長滝地区】
	泉陽ヶ丘支部福祉委員会の取り組み

事例の詳細は、それぞれの年度の報告書をご覧ください (泉佐野市社協ホームページに PDF 版を掲載しています) https://izumisanoshakyo.or.ip/

ミニコラム

社協の地区担当者の役割

泉佐野市社会福祉協議会では、地区福祉委員会の活動を支援する「地区担当職員」を配置しています(コミュニティソーシャルワーカー "CSW" に対してコミュニティワーカー "CoW" と呼ばれることもあります)。

社会福祉分野における援助技法における、地域社会に対する支援技法(コミュニティワーク)を用いながら、地区福祉委員会等の地域組織の支援を行っています。

泉佐野市社協における地区担当者の役割・機能

- ① 組織の運営支援
 - …会議の進め方や資料の作成などの助言や支援
- ② 地域福祉活動の進め方に関する助言・支援
 - …運営の助言や、他地域の活動見学の調整など
- ③ 担当地区内の社会資源の把握と周知
 - …サロン活動の紹介(小地域ネットワーク活動報告集会等での 発表の場づくり)など
- ④ 地域福祉活動の担い手の養成
 - …ボランティア講座の開催や出張講座の実施など
- ⑤ 活動から発見した福祉課題と専門機関との間の連絡・調整機能 …ネット対象者の困りごとを発見したボランティアや民生委員に対して専門相 談機関を紹介する、地区福祉委員会と福祉施設や企業、行政などとが連携でき るように間で調整を行う、など

各地区ででた意見の詳細

各地区における地域の暮らしを話す会ででた意見 (ふせんに書かれた意見)を、すべて書き出しました。

日新地区地域の暮らしを話す会

日時 : 平成30年11月18日(日) 13時00分~14時30分

場所 : 上瓦屋長生会館

参加人数:31人(上瓦屋10人、泉陽ヶ丘8人、中庄6人、湊7人)

テーマ :『あらゆる災害に備えて』

上瓦屋支部

副テーマ『災害時の情報伝達方法』

これきでの災害対策について

現在の状況について		
放送設備がない。		
佐野川の堤がくずれている。		
災害時の情報伝達方法について設備がない。		
しんどかったこと、課題だと思ったこと(台風21号の振り返りも含めて)		
災害ゴミの回収期間を長くしてほしい。	停電が長期化した。	
防災放送が聞こえにくかった。	災害ゴミの集積場がない。	
ほとんどパソコンのホームページ参照ばかり言っている。		
老人にはパソコンを見ることができない。		

これからの取り組みについて

避難ルートが解っていない。

	改善したいこと、新しく考えていきたいこと、発展させたいこと		
	防災組織を活用する。	各家庭へ	有線放送を設置する。
	ハンドマイクを使用する。	防災スピ	ーカーの増設(2カ所程)。
想定外を考えて電柱を強香・点検する。		する。	断水時対策をしてほしい。
避難力所の整備をしてほしい。			井戸がある家を調べてほしい。

避難場所が不明である。(3中以外)

泉陽ヶ丘支部

副テーマ「災害とボランティア」 これまでの災害対策について

現在の状況について	
町内の人間関係が良い。	今回の台風21号で共助ができたと思う。
門扉が吹き飛ばされ、防犯上危ない。	高齢者が多い。
避難所に行くまでが危険。	共助態勢の確立が必要。

電気が止まり、ライフラインが困った。(食中毒などの危険)

通学路近くの線路の柵などまだ直っていない物が多い。

災害時に必要なアイテムをメモにとり、実施に移す。

自助・共助・公助を今一度考える。

課題だと思ったこと、しんどかったこと(台風21号の振り返りも含めて)

災害ゴミが多かった。(どさくさまぎれに…)

21号台風の屋根瓦や工作物の囲いの飛散は意外(想定外)。

ハザードマップに強風の対策がない。

所有者がいない家の災害→近隣に迷惑(空き家も多い)。

電気が止まり食べ物を捨てることになったこと。

自宅のほうが安全と思い、避難所へ行かれない方が多い。

電気がなくてもなんとかなるけれど、水道が止まったら考えよう。

復旧が創造以上に時間がかかった。

アスファルトだから大雨のときに水が氾濫する。

避難所内にトイレがない。

埋め立て池なので液状化が気になる。

空き家の連絡先が分からない。

これからの取り組みについて

改善したいこと、発展させたいこと、新しく考えていきたいこと

張り紙や看板、もしくは見張りを立てる。

災害ゴミに対処できない家を訪問して手伝う。

市役所の関係者に連絡をする。

ライフライン関係防災グッズの十分な備えをしておく。

中庄支部

副テーマ「避難場所、要援護者への対応」

これまの災害対策について

現在の状況について 避難場所は日新小学校のみ。		
		情報伝達の方法がはっきりしていない。
スピーカーが聞こえにくい。		一人暮らし高齢者の安全確認にいく。
停電への対応は?	瓦礫•二	ゴミ置き場の通知。
避難場所、耐震対策が不備なので、野 独居老人の安否確認対応。		現行日新小学校を新池小に変更。
		ブルーシートの件、知らなかった。
課題だと思ったこと、しんどかったる		こと(台風21号の振り返りも含めて)
町会館も避難場所に耐震工事が必要。		

無線放送の改善。

防災組織の運用の確立(専任化へ、担当者への通知の徹底)。

定期的に避難訓練を実施する。

これからの取り組みについて

改善したいこと、発展させたいこと、新しく考えていきたいこと

町内会の防災意識を皆に周知徹底させ、次年度に引き継いでいく。

防災訓練は必ず必要。(定期的に)

前年度の役員を次年度にも残ってもらい新役員と連携してほしい。

防災士の試験を受ける人を確保してほしい。

防災無線の改善と他の伝達方法の運用(模索)。

湊支部

副テーマ「ライフライン(停電)」

これまでの災害対策について

現在の状況について

乾電池、電池、充電式、電池の補給、LED電池、カセット、簡易ガスコンロの購入。

ラジオ、手動式ラジオ、スマホ、スマホの充電器、飲料水の確保。

ガスが出ても電気がなければ風呂に入れない。

停電時に使用するものをまとめて置くようにした。

風呂に水を溜める。風呂に水を溜めておく。

洗濯物に困り、貝塚の息子のところに行った。

ラジオだけの情報で現状がわかりにくかった。

課題だと思ったこと、しんどかったこと(台風21号の振り返りも含めて)

電池の買い足し(保管)。 飲料水の確保。

避難場所が遠い。

これからの取り組みについて

改善したいこと、発展させたいこと、新しく考えていきたいこと		
電池の補給。	飲料水の確保。	
手動発電のラジオ購入。	日頃から家族との連絡先を確認する。	

佐野台地区地域の暮らしを話す会

日時 : 平成30年9月22日(土) 14時45分~15時45分

場所 : 佐野台集会所

参加人数:31人(佐野台12人、西佐野台4人、東佐野台6人、南泉ヶ丘9人)

テーマ : 『支部と町内の他団体との連携について』

佐野台支部

これまでの連携について(災害時もふまえて)

うまくいったこと、よかったこと		
共有している。		
子ども会、ドッヂボール大会、共済金。		
支部長は町会長が兼任している。	全町会、理事が協力できた。	
町会と福祉委員会との連携がとれている。	町会役員と支部役員が頑張っている。	
しんどかったこと、課題だと思ったこと		
長生会と連携がない。	空き家が多い。	
支部役員の内、民生委員は町会役員にしていない。		
タバコ・ゴミのポイ捨てが多い。		
台風21号のとき、電気・水の情報がなかった。水の配布、情報が入っていない。		
植木の消毒をしてほしい。		

これからの連携について(災害時もふまえて)

改善したいこと、新しく考えていきたいこと、発展させたいこと

災害時対策。災害時の情報入手手段。

停電、水が出ない高齢者宅へ配水する人がいない。人手不足。

電話も通じず、安否確認もできない。

公園の除草。クリーングリーン作戦。公園の掃除。住民負担の植木が多い(水やり、草 ひき)

緊急災害SOSで行政へボランティアの要請。

町会の事故をなくそう。

これまでの連携について(災害時もふまえて)

うまくいったこと、よかったこと

今回の台風は町内の繋がりが深まった。

「防災研修会」の実施は大変よかった。

ディスコンゲームでの連携。

町会⇔福祉委員会、町会役員会に毎回出席する。

町会主催の防災研修会の開催で防災意識が向上。

課題だと思ったこと、しんどかったこと

町会理事会への出席。子ども会、長生会。

タテ糸、ヨコ糸のつながりの拡大。

日頃の声掛け運動。

停電の時、インターフォンを使用できずとても困りましたので、災害の時の緊急時のピンポンが必要と思う。

これからの連携について(災害時もふまえて)

改善したいこと、発展させたいこと、新しく考えていきたいこと

長生会に若い夫婦や子ども達にも参加して頂きたい。

町会館の有効利用。

長生会・子ども会とのつながりを密にしたい。

高齢の方、若い世帯は共働きが多い中で、皆が無理なく団体活動に参加できるようにするにはどうすればいいか。

町会の行事に参加されている方が限定されている。もっと多くの方に参加してもらいたい。

南泉ヶ丘支部

これまでの連携について(災害時もふまえて)

うまくいったこと、よかったこと

「夏祭り」子ども会との関わりが濃くなったように思う。

ひまわり会を楽しみにしている方々が増えた。

ご近所とのコミュニケーションがとりやすい町。

見守りネットワーク登下校活動に積極的。

課題だと思ったこと、しんどかったこと

町内イベントに高齢者が参加しにくい、楽しみにくい。

会館へ行く手段がない。

カフェの参加者を増やしたい。

安心して暮らせる町づくりのリーダーは誰かはっきりさせるべき。

これからの連携について

改善したいこと、発展させたいこと、新しく考えていきたいこと

災害時に一人暮らしの方々への対応。

台風時、町会と自主防災の連携ができていなかった。

町会と福祉委員会の連携強化。

町内の各団体(町会、子ども会、長生会、自主防災会など)

東佐野台

これまでの連携について(災害時もふまえて)

うまくいったこと、よかったこと

回覧、掲示板については、まずまず情報を回せてると思う。

今回の台風に関しては、福祉、他団体とも自然に協力できた。

福祉と長生会は、メンバーが重複しているので上手くいくことが多い。

クリスマス会は福祉、子ども会とうまく交流ができた。

課題だと思ったこと、しんどかったこと

個人情報保護のため、電話番号、年齢など、わかりにくいので不便。

担い手不足。

町会、役員会に協力を得られない(年齢、仕事etc.)。

他団体の協力が得られにくい(町会役員がくじ引きで決まるため)非協力的な人が多い。

福祉と他団体ともに町内の行事にあまり関心がない。

これからの連携について

改善したいこと、発展させたいこと、新しく考えていきたいこと

福祉の行事への参加を呼び掛けることによって、理解を深めたい。

個人情報保護のため、情報があまりにもわからないので何とか方法はないものか。

北中地区・地域の暮らしを話す会

日時: 平成30年11月16日(金) 19時30分~21時00分

場所:鶴原町会館

参加人数:25人(鶴原町9名・下瓦屋7名・中央住宅9人)

テーマ:台風21について考える

鶴原町

①被害状況や町会の対応	
他人の物をどこにすてていいか	カーポートの波板が飛んだ。
屋根瓦が飛んだ	信号機の故障
屋根が飛んできた	気が倒れた
車の傷	ベランダでとたん飛ぶ
家の壁に穴が開いていた	車のガラスが割れた
e o光の復旧に1か月かかった	小学校の作り直したばかりの塀が倒れた
壁が崩れた	離れが倒壊した
電柱が折れてた	倉庫が飛んだ
カーポートが倒れた	電線が倒れている
罹災証明書、組長さんに配る	停電
②課題	
停電の復旧状況が分からない	町会に入っていない
災害ゴミ以外のゴミが多い	市の放送が聞きにくい、貝塚の放送とごっち
	ゃになる
役所と連絡とれない	市の放送が聞こえにくい
③解決策	
見張りをつける	災害がおこらないよう祈る
防災訓練を年1回きちんとする	スピーカーを増やす
連絡網の整備	
④1 年間の行動予定	
防災士の指示のもと進めていく。	

下瓦屋

①被害状況や町会の対応	
瓦が飛んだ⇒雨漏り	戸袋が飛んだ
植木が折れた	雨どいが壊れた

雨戸が飛んだ	瓦で道が塞がった	
瓦が割れた	瓦が飛んで窓が割れた	
瓦で塞がった道の近所の人で片づけた	ブルーシート貼ってくれと依頼された	
次の土日でがれきを回収して町内清掃した	近所の人達と道路のがれきを拾った	
テラスが曲がった	がれきを早く回収してもらって助かった。	
電線にシートが垂れ下がっている		
外に出ないが屋根瓦がカランカランと飛び音がすごかった		
がれきの回収をしてくれたのでありがたかった		
②課題		
色々な情報がみんなに行き渡らなかった	屋根の修理作業が決まらない	
あまり真剣に考えていなかった		
せっかくの広報車が回ってくれても走りながらではわからない		
③解决策		
広報の内容が分かるように止まって放送を流す		
④1 年間の行動予定		
家族で避難について確認しておく		

中央住宅

①被害状況や町会の対応		
水を北中小からタル型容器に	ゴミの屋根	
停電・断水・テレビ・倒木・滑り台が壊れた	水を市へ連絡。給水車1日3回来てもらう	
J:COMへ tel つながらす⇒J:COM 来所	集会所休めるよう毛布 200 枚用意	
ガラス戸が割れた(1戸だけ)	滑り台を端に寄せる	
物干しざおが落下	トイレを集会所で出来るようにした	
住宅内のものが飛んで行った外からはなかった		
停電・断水の理由が伝わらず問合せ沢山対応した		
②課題		
飲料水・毛布・銀行	給水車に栓必要では。(水の袋がこぼれる)	
安否確認	広域避難場所(北中小)まで行けない	
放送設備が使えない	ボランティア不足	
EV 停止。階段で降りられない老人	携帯用トイレ	
③解决策		
備蓄倉庫新設	給水車両の不備	
集会所の床が冷たいのでマットが必要	給水の容器の形状を変えてもらいたい	
空室を備蓄・非常用スペースに	風呂の水張り	
非常用食料・飲料⇒計画的購入	非常食は各家庭で常備	
④1 年間の行動予定		

自主防災組織に「要支援者」の安否確認ルールを!	
要支援者の「個別台帳」づくり	
上下階が無理なので、隣近所で安否確認	棟長・副棟長など福祉の協力者として





三小地区・地域の暮らしを話す会

日時: 平成30年9月15日(土) 10時00分~11時30分

場所:旭町会館

参加人数:12人(旭町5人、新町6人、春日町1人)

テーマ:安全なまちづくり

新町チーム

『台風 21 号を振り返って』

今まで行ってきた活動について		
うまくいったこと・よかったこと		
ご近所の助け合い(片付けなど)	絆の強い町内だと思った	
久しぶりに隣組の協力ができた(最近は家族	 葬等でつながりが薄れていた)	
災害ゴミの運搬時、車の提供を受ける等、近	災害ゴミの運搬時、車の提供を受ける等、近隣の協力を感じた	
新町広場が活用できた	想像以上に片づけがスムーズになされた	
三小の体育館は避難所として有効だった	避難者に対する熱いお世話	
気持ちよく頼みごとに協力してもらった	近所でまとめ役的な人がいることが判った	
台風情報が早くから知らされ一応準備できた		
助けを電話で求めてきた。電話番号を知っていた		
課題だと思った事・しんどかったこと		
災害無線が聞き取りづらい	スピーカーが聞こえにくかった	
台風の前からですが細い道がデコボコ	空家を放置する持ち主	
一人暮らし高齢者の方々にどれだけ対応がて	きたか不安	
災害ゴミ等、市からの連絡について・変更多	災害ゴミ等、市からの連絡について・変更多い・連絡(放送など)不明確、不十分	
行政の支持が変わりやすく、また末端まで伝	行政の支持が変わりやすく、また末端まで伝わっていない	
一人暮らし高齢者の対応(災害後)罹災証明提出、瓦礫除去等⇒困難者はどうするか		
関電には申し訳ないが、停電の長期化に不満	±	
普段からの防災組織づくりができているか不安		
防災会で三小にいる間、妻は一人で心細かったようだ		
これからの取り組みについて		
改善したいこと、発展させたいこと、新しく考えていきたい事		
市民への通知手段。HPと無線だけでよいのか		
情報の周知徹底がなされていたか	違法ゴミの監視方法	
各町に市職員 1 名常駐(罹災証明対応)	災害弱者への共助OR公助の範囲不明	
自警団、消防団ではないが、防災委員会が強化できないか。青壮年も関わるような組織		
化		
市の対策づくり。災害後の高齢者訪問調査・協力体制(市+防災会+町会等の協力)		
高齢者食物備蓄しかたない?	サロンで防災研修をやろう	

旭町、春日町混合チーム

『台風 21 号を振り返って』

今まで行ってきた活動について

うまくいったこと・よかったこと

台風後の見守りで一時帰宅してきた高齢者の方に会えた

共助を実感できた

緊急回覧の手法ができた

近所の方と声を掛け合って絆が生まれた気がする

罹災証明の重要さがわかった

瓦礫の回収が割と早くて助かった

瓦が粉々になって道に広がったが台風通過がすぐみんなで片付けた

停電の時にどんな事に困るのかが良くわかった

災害後の片づけなど近隣同士が協力し合うという場面があり助け合うという気持ちが大事だと改めて感じることができた

先の台風の時、被害にあった建物を都市計画課に電話して対応してもらっていたので、 21号の前日に補修してもらえた。間に合ってよかった。

課題だと思った事・しんどかったこと

地域の放送が良く聞き取れないので困った(声が割れる)

いろんな情報が入りづらかった

屋根修理がすぐにできない

一人暮らしの高齢者のことをもっと気にかけてあげるとよかったと思う

空家になっている建物の破損を持ち主に連絡できないもどかしさをどうしたらよいか

避難所を閉所するのが早い。(我慢してから行くと閉まっていた)

町内の各団体で周知することなどどう連携をとっていくべきか

他県から屋根業者が応急処置だけで5万で施行。

瓦礫集積所に台風と関係のないゴミがいっぱいになってしまう

これからの取り組みについて

改善したいこと、発展させたいこと、新しく考えていきたい事

地域の放送が聞きづらいので電話をすると同じ言葉が聞けるシステムがあると良い

ボランティア活動に参加して実働された方に『さのぽ』プレゼントするとどうでしょう

ネット以外で情報を発信する方法が必要では

停電に対応できるマニュアル制定

停電が数日続いた。(町内で差が大きかった)

末広地区・地域の暮らしを話す会

日時: 平成30年12月13日(木) 19時00分~20時30分

場所:東羽倉崎南町集会所

参加人数:35人(東羽倉崎南町6人、東羽倉崎町6人、長滝第一住宅2人、新安松6人、

東羽倉崎自治会7人、羽倉崎上町8人)

テーマ: 防災について『台風 21 号の振り返りも含めて』

東羽倉崎南町支部

今まで行ってきた活動について	
現在の状況について	
防災組織がない。	
現状の課題・しんどい事	
安否確認の際、タオルを使ってくれないので、安否確認ができない	
建物の被害状態等の各棟の確認	被害時に管理組合への報告と修理願い
高齢者の一人暮らしが恐い	
これからの取り組みについて	
改善したいこと、発展させたいこと、新しく考えていきたい事	
防災組織を作る	行政などとの連絡網強化
日ごろからの呼びかけ、備え 等	ご近所の助け合い
安否確認の強化	

東羽倉崎町支部

今まで行ってきた活動について		
現在の状況について		
自主防災会設立	主防災会設立 補助金にて笛購入予定	
現状の課題・しんどい事		
行政の対応が遅い	家の修理が進んでいない	
瓦職人が少ない	高齢者にとって手続きは大変	
役所の出張所が欲しい		
末広公園のフェンス壊れている。修理してほしい		
役所に問い合わせたら、ホームページを見て下さいはダメな対応		
瓦礫集積所新設希望。【土地無し】公園の一部?		
子ども達の通学路です。安全第一でお願いします		
これからの取り組みについて		
改善したいこと、発展させたいこと、新しく考えていきたい事		
連絡網を作る 情報がみんなにわかるようにしたい		

長滝第一住宅支部

今まで行ってきた活動について		
現在の状況について		
初めてのことでありスムーズにいかなかった	-	
初めてだったので何をしていいか分からなか	いった	
集合住宅の為、棟数、号数、氏名、人数(家族	疾数)を確認することができた	
声をかけてくれたのでありがたかった	日ごろから近所づきあいの大切さを感じた	
棟長、副棟長も行動できなかった	会員が集って騒がしくなった	
現状の課題・しんどい事		
各担当を決めているが、現状は厳しかった	役員の行動がマチマチで統率がとれない	
ゴミの片づけかたが迷った	何から手を付けていいかが分からなかった	
家族構成がわからない。住民が分からない		
高齢者が多く、若い人が少ないので苦労した		
風邪がまわっていたので、色々なところに、いろんなものが飛んでいた		
訪問、安否確認を取って行かなければいけない		
最近引っ越しをしてきた人の顔も名前もわからない		
これからの取り組みについて		
改善したいこと、発展させたいこと、新しく考えていきたい事		
指示系統をきっちりしていく	普段から災害のことを頭にいれておく	
ペアを組んで安否確認に回る	一人一人の行動協力を明確に指示する	
役員の行動を明確に指示していく	ふれあいの大切さ	
絆を深める。お互い様の心で人と		
全世帯を訪問し知り合いになっておく事(普段から)		
一人暮らしの人に対して日ごろから気を付けておく		
電気水道が止まったので役員が避難したので大変であった。初めてのことであったので		

新安松支部

今まで行ってきた活動について	
現在の状況について	
市の防災訓練に参加(190名)	高齢者に対する対応
瓦礫の回収	黄色タオルの大丈夫ですの確認、活用
近隣の挨拶が出来るようになった	
現状の課題・しんどい事	
瓦礫の置き場不足	災害時の対応策の取り決め

防災放送が聞こえづらい	防災チョッキ		
屋根瓦及び、屋根シート飛散多く回収に苦労した			
災害発生時、ゴミ瓦礫以外の一般ごみが多量に出ていた			
業者によって修理費が大幅に差あり			
これからの取り組みについて			
改善したいこと、発展させたいこと、新しく考えていきたい事			
災害時の業者あっせんを市でやってほしい 各団体との定期的開催			
瓦礫の回収場所設定	の回収場所設定 町会内で防災ボランティア募集		
市の情報を早く流してほしい(罹災証明、避難のこと)			
福祉の方は一人暮らし高齢者の安否確認と(家屋の)被害状況を調査する			
防災組織の活動及び防災器具の活用(点検)	地下道に手すり設置		
瓦礫場所に出すのは災害で出たゴミだけ			

東羽倉崎自治会支部

今まで行ってきた活動について				
現在の状況について				
参加者が少ない	が少ない 水不足の時の水の確保を考えている			
亭電、断水、ケガなどの時の協力体制				
年一回の防災訓練に参加している(自治会の) 295 世帯の約 70%が参加)			
安否確認のため玄関等に黄色のタオルをかけ	けておく			
停電で困ったが、南町より援助がありスマオ	て、ガラケーの充電ができた			
風呂の水は、捨てずに毎日ためておく方が良	引いと思います			
現状の課題・しんどい事				
高齢者が多いため、災害時の安全が大変であ	5る			
今回の件で、水の確保等準備をする必要があ	5る			
停電の時断水するので、上階の人が水を運ぶのがしんどい				
一人暮らしの老人が多く、水を配布するのが大変だったため、この問題を解決したい				
電気等止まった時は水道も出ないので、階段で水を運ぶのが大変。今後どうするべきか?				
エレベーター停止後の対応を考える	断水時の水くみの苦労			
若い人たちの協力が必要				
これからの取り組みについて				
改善したいこと、発展させたいこと、新しく考えていきたい事				
近所の方との交流は大切にしていく	ソーラーランプをつけたい			
隣近所だけでも声をかけあうようにする	若手の災害に対する自主的な協力がほしい			
羽倉崎町会防災用の衣を作る	羽倉崎町会防災用の衣を作る 葬儀の時が報告がないから			
自主防災組織、役員同士の連絡、協力方法を話し合う必要あり				
この頃は災害時 1 週間の自助が大切と言われているので、長期の準備を心がけなければ				
いけない				

エレベーターが止まっても、自家発電で稼働するよう各企業が自動的に対応してほしい 災害の時だけでなく声をかけあうようにする ソーラーシステム(外灯、通路)の設置

羽倉崎上町支部

今まで行ってきた活動について		
現在の状況について		
組織が出来ていない	防災グッズがあるが、みんな知らない	
現状の課題・しんどい事		
災害ゴミの不法投棄	組織を立ち上げる	
独居高齢者の対策	手続きが難しい	
災害の放送が聞こえない	ライフライン復旧の交渉など	
これからの取り組みについて		
改善したいこと、発展させたいこと、新しく考えていきたい事		
連絡網の整備	各組長の役割を決める	
外灯の明るさをあげる	災害ゴミの集約場所	
ハザードマップ		





一小地区・地域の暮らしを話す会

日時: 平成31年2月15日(金) 19時00分~20時30分

場所:野出町会館

参加人数:41人(松原団地住宅3人/野出町7人/西本町5人/羽倉崎5人

笠松町5人/元町5人/本町6人/松原5人)

テーマ: 防災について『台風 21 号の振り返りも含めて』

松原団地住宅支部

台風 21 号を振り返って		
課題だと思った事・しんどかった事		
エレベーター止まった。	停電で水が出ない。	
ベランダの仕切り板が壊れた。	隣からの波板の飛散。	
車の窓ガラスの破損。	行政への連絡の不通。	
大きな松の木等が根っこから折れて倒れる。		
瓦礫の処分場所。 ゴミの散乱。		
うまくいった事・よかった事		
停電が早く復帰。	被害が少なかった。	
生活に関わる被害が無かった。	みんなで団地の掃除をした。	
住民が協力的であった。	けが人が無かった。	
瓦礫の処分が早かった(通報が早くできたため)。		
隣近所の住民さんの安否確認が早かった。		
これからの取り組みについて		
改善したいこと、発展させたいこと、新しく考えていきたい事		
散乱しそうな物を片付けておく。	情報収集。	
サッシにミールドテープを張る。	ゴミ置き場の確保。	
ダンボールを使用しない。	テープは養生テープを使う。	

野出町支部

台風 21 号を振り返って		
課題だと思った事・しんどかった事		
組長、班長の電話連絡がスムーズにいかなかった。		
災害に対して日ごろ用意はしていたが、瓦はどうしようもなかった。		
台風の時も一小を開けてほしい。	市からの連絡の放送が聞こえにくい。	
町会館の割れたガラスの清掃。 食料品を買うことができなかった。		
他所からの瓦礫が多かった。		
瓦礫の収集場所に台風以外の粗大ごみを出す人がいる。		

軽トラックで朝から夜まで瓦礫を集めて回りました。

【一人暮らしの方からの相談】

屋根のブルーシートを張ってほしいが業者が見つからず、ことごとく断られ、福祉センターに相談したが無理とのこと。

長い間台風が泉佐野市に来なかったので油断があった。

災害時の放送等、ワンワン~で聞こえにくかった。

津波の心配が無い場合、第一小学校体育館を避難所に。

うまくいった事・よかった事

テレビ等で分かっていたので避難が早かった。

大きなけが人等がでなかったのでよかったです。

一人暮らしの方への訪問。全員無事の確認が早くできた。

早く瓦礫を回収したので、車が通れるようになった。生活道の確保。

一部の家で停電があったが、それ以外電気がついていた。

すぐに町の役員さんが道路の瓦礫を集めてくれて通れるようになり町の皆さんが喜んでいた。

これからの取り組みについて

改善したいこと、発展させたいこと、新しく考えていきたい事

町内に1つ避難場所を開設してほしい。	放送設備を考えたい。
連絡の見直し。	連絡網充実。隣組、班長、組長。
早めの事前対策(家庭用の片づけ等)。	

災害が大きくなりそうな場所の連絡対策が必要か。

町内会役員、組長さん、班長さんの電話番号を家の中に貼る。

西本町支部

台風 21 号を振り返って

課題だと思った事・しんどかった事

瓦礫の片づけ。 ゴミ仮置き場の設置。

お知らせマイクの改善。 家庭ごみを捨てる。

ブルーシート配布時、時間より早くから配布していた。

日頃の付き合いが大切だと思った。

うまくいった事・よかった事

ご近所さんと協力。

近所の人達が協力して道の瓦やゴミを片付けてくれた。

初めての体験だったがわりにみなさん協力的だと思った。

これからの取り組みについて

改善したいこと、発展させたいこと、新しく考えていきたい事

隣組の連携。	市からの情報伝達。
申請場所の臨時設置。	申請の簡素化。

羽倉崎支部

台風 21 号を振り返って		
課題だと思った事・しんどかった事		
ゴミ処理の手順が作成されていない。	ゴミ置き場に家庭ごみがあって困った。	
助けてくれと言われて困った。	反省する事ばかり。	
会館を避難所にしてほしいと訴えられた。	支援金の手続きが大変だった。	
考えが甘かった。	初めてのことで手の打ちようがなかった。	
台風に対しての備えが足りなかった。	心残りばかり。	
相談事多い。		
ボランティアの要請の仕方が分からなかった。		
災害ゴミを会館に運ぶのが重くてしんどかった。		
うまくいった事・よかった事		
農家が多くて軽トラが役に立った。 良かったことが無いに近い。		
これからの取り組みについて		
改善したいこと、発展させたいこと、新しく考えていきたい事		
災害ゴミ置き場を決めておく。	災害ゴミの運搬方法。	
早期に避難する。	一人暮らしの方の安否確認に回る。	
我が家は無事ですのタオルを出すように徹底する。		

笠松町支部

台風 21 号を振り返って			
課題だと思った事・しんどかった事			
一人暮らしの方の家に訪問する方法を考える。			
一人で暮らしてとっても不安だったとの意見が多かった。			
お年寄りの台風時の対応を考える。			
カーポートの片づけ。手を切りそうだった。	台風に関係ないゴミが多かった。		
ブルーシートの配布等知らなかった。 防災組織の機能が上手くいかなかった。			
ゴミ出す場所を一か所にすべきだった。 後片付けの清掃。			
市役所の対応が上手くいっていなかった。 ご近所への声掛けで気迫が目立った。			
ブルーシートの配布方法等、市からの連絡が悪かった。			
各軒のゴミを集めたが、その捨てる場所の連絡が遅い。			
災害ゴミ以外の分が多かった。モラルの問題。			

弱い立場の方々のゴミ等を集積場所への困難があった。

家の中のごみの片づけ。一定の場所へ運んだこと。

古い家が多く、倒壊しかけている所がどうもできなかった。

大きな木の枝を切って集積所に持っていくのが大変だった。

うまくいった事・よかった事

市役所からのゴミ捨て場ができて良かった。近くだったし。

これからの取り組みについて

改善したいこと、発展させたいこと、新しく考えていきたい事

役割分担をあらかじめ定めておくこと。 早く市役所の指示がほしい。

ゴミ置き場は一町一か所にすべき。 事前に防災係が動いて下されば。

放送のマイクが聞こえないのでどうにかならないものか。

ゴミ捨て場に見張りの人がいる。ゴミの出し方が悪い。

災害におけるその処理の役割分担をきめておく。

ブルーシートの配布等は組⇒区⇒町にといった感じで連絡し、市役所に取に行かなくて も町会館に落とすとか、証明用紙の記入等に戸惑っている方が多いので、市から会館に 派遣していただいてはどうでしょうか。専門的なこともあるので相談所みたいな?

防災組織の強化。

元町支部

台區	21	号を持	振り	治ワー	って
1 / 3			/IX * /	"	_

課題だと思った事・しんどかった事

ブルーシートが不足(町で用意できなかった)。

一人暮らしの方の瓦の後片付けができなかった。

連絡系統が悪かった。ゴミ置き場がなかった。生活ごみが多かった。罹災証明の書き方が分からなかった。一人暮らしの方へ訪問できなかった。ゴミの後片付け。

うまくいった事・よかった事

「元気です」のタオルを出してくれていた。| 役所の職員が良く来てくれて助かった。

一人暮らしの方の罹災証明書を書いて提出に行った。

これからの取り組みについて

改善したいこと、発展させたいこと、新しく考えていきたい事

町内の連絡系統を考えたい。 一人暮らしの方への声掛けの充実。 町内役員が集まり安否確認に回る。 防災組織の再検討。

役員の若返り。

一人暮らしの後片付けを手伝い出来る町内ボランティアを作る。

⇒元町町内会役員の若返りを目指す。

本町支部

台風 21 号を振り返って		
課題だと思った事・しんどかった事		
瓦礫置き場指定なかった。	空家の瓦礫処分方法。	
瓦礫でないものも置きに来た。	町内以外より置きに来ていた。	
一人暮らしの方が瓦礫の処分に困っていた。		
うまくいった事・よかった事		
日中の出来事だったため、対処が早かった。	近所の協力。	
一輪車で瓦礫処分協力(休日)。		
一人暮らしの方の処理。ボランティアセンターに手助けしていただいた。		
これからの取り組みについて		
改善したいこと、発展させたいこと、新しく考えていきたい事		
仕事先(会社)判断も大切。	対応。訪問。聞き合わせ。空家等。	
情報収集早めに対処。	空家の処分。	
町内の不安全なところの改善。木、瓦。		

松原支部

台風 21 号を振り返って		
課題だと思った事・しんどかった事		
高齢者の方から電話で瓦が飛んだといってきた。⇒すぐに社協に連絡。		
粗大ごみの多かった事。(関係ないもの) スーパーが閉まって何も買えなかった。		
まだブルーシートが目立つ。	市が保存食を確保してほしかった。	
佐野中はトイレ使えず。⇒二小へ。		
うまくいった事・よかった事		
町として個人の車を出してくれてゴミを集めに回った。		
町役員等でゴミの回収で喜んでくれてよかった。		
町内会館内にゴミの置き場としたこと。 高齢者の安否確認ができた。		
停電の時間が短くてよかった。		
これからの取り組みについて		
改善したいこと、発展させたいこと、新しく考えていきたい事		
設備を整えてほしい(佐野中トイレ)。 避難場所を確保する必要がある。		

長滝地区・地域の暮らしを話す会

日時: 平成30年12月5日(水) 19時00分~20時30分

場所: 長滝第一町内会館

参加人数:39名(東ノ番/11名、中ノ番/11名、西ノ番/12名、新長滝/5名)

テーマ:台風21号を振り返る~今、考えなければならないこととは?~)

東ノ番

ワーク①) 台風 21 号、困ったことは?	
防災無線は役に立たなかった	瓦などの瓦礫の処分
電気・停電	電話の不通
瓦が飛んで雨漏りもした	玉ねぎ小屋が隣の稲穂に飛び、後始末に困
	った
瓦がなかった	
ワーク②)台風 21 号、自分たちで行ったことは?対応したことは?	
瓦礫の処分方法、場所について周知徹底に回った。(回覧板の配布)	
独居高齢者の安否確認を行った	ボランティアの依頼(独居高齢者)
高齢者宅の屋根のブルーシート張り	屋根に上ってブルーシートを張った
ゴミ捨て場を早急に準備(回覧)	飛来物の処分
隣の家の瓦が飛んできたので掃除をした	瓦のズレを直した
ワーク③)今後に向けて、自分たちで出来ることは?	
自分で出来る事は自分でする	瓦礫の撤去場所の案内は、街頭車で町内を
	廻ってもいいのではないか
防災無線がよく聞こえるように改善を!	隣近所の助け合い
食料の備蓄	ハンドマイクを利用して瓦礫の処分場の案
	内を徹底する
後片付け(ゴミ等)	
町会館の耐震化が望ましい。避難場所にし	避難所が遠すぎる
たい	
避難所開設すれば組織通り炊き出しできる	独居老人の瓦礫片づけを手伝う

中ノ番

ワーク①) 台風 21 号、困ったことは?	
回覧が多くて困った	後片付け
4日間停電、街が暗かった	電気がなければ何もできない
停電	吹き上げられたトタン屋根の片づけ一人で
	大変でした

瓦やトタンの片づけ	瓦礫置き場の期間が短すぎ
瓦がずれて屋根に登れない	ゴミ処理
ワーク②)台風 21 号、自分たちで行ったことは?対応したことは?	
安否確認	家周辺の飛散物の片づけ
安否確認に回った	一人暮らしの方への見舞訪問
瓦礫処理の対応	一人暮らしの方への落下物片づけ
一人暮らしの方への安否確認をした	罹災証明についての回覧作成
一人暮らしの方を訪問して瓦礫の処理をし	連絡道にて古屋の屋根の片づけ手伝い
た	
罹災証明申請	道路(自宅前)のゴミ拾い(飛来物)
ワーク③) 今後に向けて、自分たちで出来ることは?	
グループで動けるように	油断をせず備える事
隣近所の絆を強く	隣同士の話し合い
隣近所共同で災害の事後処理に当たるように協力する	
隣組、近所の助け合い	行政の基本姿勢を示せ
まず自分で出来る事をする。最悪の事を考	子ども達に伝えていきたい
えて!	
近所の状況を確認	組長が高齢ですが頑張っていました。でも
	先日亡くなった。

西ノ番

ワーク①) 台風 21 号、困ったことは?	
瓦等が飛んで来て片づけが大変だった	停電
道路の倒木	店の食糧品の不足
ゴミ	シャッターが壊れた
隣から瓦が飛んできた	お風呂に入れない
電気のありがたさ	瓦礫の始末
食べ物がない	
ワーク②)台風 21 号、自分たちで行ったことは?対応したことは?	
自宅の瓦の片づけ	対象者さんの罹災証明を出す手伝い
家族が一部屋に固まって台風が過ぎ去るの	近隣の方々と一緒に道の掃除
を待った	
対象者さんの安否確認に伺ったこと	瓦の後片付けに主人が屋根に登って処理し
	た
回覧を回した	だんじり小屋修理
訪問と電話にて対象者さんの安否確認をし	対象者の台風前後の安否確認
た	_
若中会の方々が手早く回覧を回してくれた	第2町内会館修理

瓦の片づけ	
ワーク③) 今後に向けて、自分たちで出来ることは?	
対象者の避難誘導	安全な避難所に避難する様進めてあげる
防災用品の完備	家の周りの危険な箇所を点検しておく
お年寄りを避難所へ誘導する	危ないところへ行かない、見守る
自分の身は自分で守る	食糧品、水の確保
停電の時の灯の用意	対象者さんに日頃から避難の仕方を相談し
	ておく
窓にテープを張る(飛び散らないように)	風で飛びそうなものは内に入れる
懐中電灯を用意する	食べ物を備蓄する(電気を使わない)
自分に何が出来るか即考える	

新長滝

ワーク①) 台風 21 号、困ったことは?	
ゴミの捨て場所	雨漏り
高齢者の瓦礫の整理	空連道そばの花みづきが道路側に倒れてい
	て道路をふさいだ!
体調不良、避難場所	関西空港から帰って来れなかった
高齢者(一人暮らし)の方は瓦礫の撤去に困っていた	
ワーク②)台風 21 号、自分たちで行ったことは?対応したことは?	
瓦礫の収集場所の決定	ブルーシートの調達(共同)
屋根の仮修理	台風が収まったら近所誰とはなく集まって
	大木の片づけをした
瓦礫の始末	情報の収集
罹災証明書用写真の撮影(高齢者)	情報の伝達①ロ頭
情報の伝達②回覧の作成	個別ビラの作成
ネット対象者の安全確認をして廻った	いち早く市のブルーシートをもらった
収集場所を早く決めてくれた(自治会長)	樹木(空連道下の道路をふさいでいた)を
	ロープで皆で引っ張って端へよけた
ワーク③) 今後に向けて、自分たちで出来ることは?	
情報を把握する	対策を考える
防災に特化した体制を作る・連絡網を作る	行動する

上之郷地区・地域の暮らしを話す会

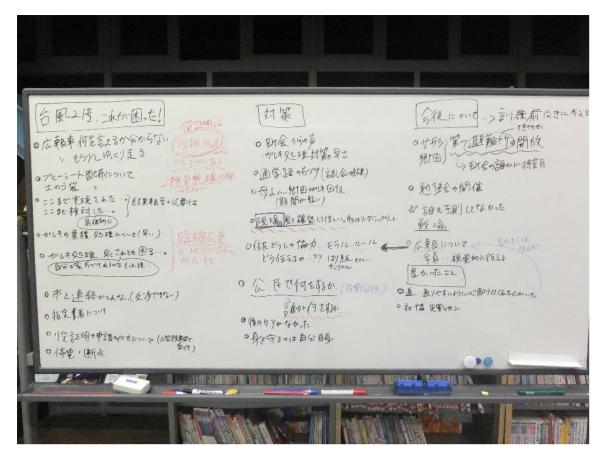
日時: 平成30年10月30日(火) 19時00分~20時30分

場所:台風21号を振り返る

参加人数:19人

テーマ: 台風 21 号を振り返る

台風 21 号、これが困った!		
広報車何を言ってるか分からない	広報車もう少しゆっくり走る	
ブルーシート配布について	土のう袋配布について	
瓦礫の集積・処理が早い(自分の家を片づけられるのはもっと時間が経ってから)		
市と連絡がとれない(交渉できない)	指定業者について(地元のことを知らない)	
罹災証明の申請の仕方について、小学校単位で受付たらいいのに		
停電・断水の時	誰も予測してなかった(戦場である)	
☆情報伝達に偏りがある・防災無線の活用に	ついて課題	
☆地区に合わせた臨機応変な対応が必要		
良かったこと		
道、通りやすいように心配りしてくれた人がいた		
泉佐野市社会福祉協議会の災害ボランティア	アセンター、助かった。	
対策		
町会のがれき処理対策の早さが素晴らしかっ	た	
通学路の片づけ(市と話し合ってした)	母山〜郷田の瓦礫回収の期間が短い	
市にはリーダーシップをとってほしい		
市、まず現場を見て確認してほしい		
住民同士の協力が必要。モラル、ルールが問	われる。そこをどう伝えるか?	
⇒貼り紙、サンプル活用(ここにはこのようなサンプルゴミのような種類のゴミを置く		
ということが分かるように)		
公と民で何をするか、誰が何をするか		
災害後のケアがなかった		
身を守るのは自分自身		
☆公民で役割分担を行う。民でできることはする		
今後の取り組みについて		
第一避難所の開放を行った	町会の誰かが避難所に待機しておく	
避難所が適切かどうか再検討	勉強会の開催	
モラル、ルール対策として、村で広報紙を作成する。写真をつけて視覚的に訴える		
広報紙には良かったことも伝えるようにする		
訓練等も行い、前向きに考える必要がある		





大十地区・地域の暮らしを話す会

日時: 平成30年12月8日(土) 19時00分~20時30分

場所: 土丸町会館

参加人数: 33名(大木:19名、土丸:14名) テーマ:福祉委員会活動の現状と今後について

各活動の振り返り

別紙参照

やってよかったこと

親子ふれあい木工交流会の気づき

スイカ割りは子ども達に好評であった。楽しんでくれた。

かき氷も良かった

高齢者交流会の気づき

マイクロバスで大衆演劇を見に行った年もあった。(協力員も同行)

今年は地元(交流棟)で会食だった。男性は地元で会食されるのが好評である

ゆっくり楽しんでいただいた

やって困ったこと

カラオケサロンの気づき

参加メンバーの固定化

協力員(担い手)の固定化

≪参考≫

(社会福祉協議会より困ったことに関連するポイント)

- ○なぜ、いま助け合い・支え合いなのか?
- ○国の施策の動き
- ○泉佐野市の動き
- ○地域のつながり・助け合いの輪を広げていくためのヒント
- ・支える側・支えられる側にとらわれない『ささえあい』 役割がある場所は居場所になる
- ・地域に目を向けると新たな協力者が『施設・事業所との連携』
- 『これからの地域を担う若い世代の力を活かす』
- ・『これならできる』役割分担の工夫

(他地区・他市の取り組み紹介)

○町会加入を促進するための上之郷地区福祉委員会の取り組み

〇コミュニティカフェの取り組み

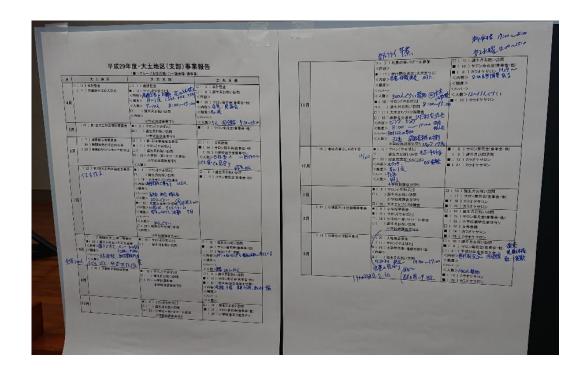
- ・旭町カフェ 支える側・支えられる側に とらわれないささえあい
- ・ 中町カフェ

· 世代間交流を主に考えている

- ・西本町カフェ
- 新長滝カフェ
- (※新長滝はその他の活動も紹介)
- ・おしゃべりカフェ

○他市での取り組み例

若い世代の力を活かす施設・事業所との連携



長坂地区・地域の暮らしを話す会

日時: 平成30年10月16日(火) 19時00分~20時30分

場所:次世代育成地域交流センター

参加人数:35 人(新泉ヶ丘 5 人・泉ヶ丘 10 人・下瓦屋南 5 人・鶴原北住宅 1 人・貝田

町 6 人・新家町 6 人・見出住宅 2 人) テーマ:台風 21 号について考える

新泉ヶ丘

被害状況や町会の対応について

停電・断水・大型倉庫転倒・A ブロック倉庫が2 棟倒れる

駐車車両被害・屋根スレートが散乱・植木の倒壊・窓ガラスが割れた

困った事・課題

安否確認 風に弱い

解決策

自分が助かる工夫をする。(自助) みんなで助け合う。(共助)

炊き出し訓練を実施する。

今後の予定

連絡網を整備(特に高齢者・病気の方)

泉ヶ丘

被害状況や町会の対応について

停電 ⇒ 長期のものは関電へ連絡する。

屋根瓦が落下 ⇒ 町会で運搬した。

大木が倒れた ⇒ 道路をふさいだ ⇒ 町会で運搬、町会員が運搬した。

ゴミがたくさん出た。 ⇒ (瓦・パネル・なみ板)町内会で運搬(奥池公園)

スピーカー(町会放送用)の断線、破損(2個) → 青パトで放送した

車庫から車が出せない。電動シャッターが動かなかった。

屋根損傷により雨漏り 道路の冠水

太陽光パネルの落下 カーポート屋根のやぶれ

フェンスの破れ ガラスが割れた 写真をとり、証明書用に使用

困った事・課題 → 解決策

	備蓄	
放送設備	➡防災無線と町内放送できないか。町内会館で自家発電をす	
	るようにする。	
今後の予定		
町内会館へ自家発電設置	災害時の組織の活用 ⇒ 自主防災組織	
公共電気 ⇒ 事前に備える ⇒ 必要な物の準備		

貝田町

被害状況や町会の対応について

人的被害の報告は無かった。

停電 JCOM

屋根瓦の落下の家屋が多かった。

災害ゴミの道路への飛散 ⇒ 当日青年団が回収した。

災害ゴミの仮置き場(町内)がいっぱいになった。(奥池等の仮置き場開設後は、町内の掲示板に掲示)

粗大ごみが廃棄されていた。(洗濯竿・タイヤ・自転車・大型遊具他) ⇒ 町会で対応

通学路にブロック塀が倒れ電柱にもたれかかっていた。

長坂小からも指摘 ⇒市役所に連絡対応

.罹災証明と支援金の資料 町内個別配布 (罹災証明の期限が短い。延長されたが) 9/14 当初罹災証明の期限 9/18~9/21 に変更 (延長の判断が遅い)

災害ゴミの町内廃棄分があった。(仮設置き場以外) ⇒ 町内会で新町公園に行く件

困った事・課題

罹災証明、支援金の周知がされていない。 | 粗大ごみの罹災ゴミへの混入の問題(モラル)

施策は良いが周知されていないと意味がない。

罹災証明の提出期限が短く、老人家庭が提出できたか不明。

今回は祭り期間で青年団・保存会の動員が早急にできたが祭り以外の期間の対応は?

大型災害ゴミの開設が遅い。(町内で災害ゴミが散乱)

解決策

市役所が罹災証明や支援金を周知する方法を確立することが必要。

罹災証明の提出期限を延長する(貝塚市は長い)

町内会報で定期的に周知しモラルの向上を計る。

大型の災害ゴミの仮置き場の開設を早期に行う体制を整える。

今後の予定

ゴミの分別(災害ゴミ)のモラル向上の啓発活動(町内会議・町内会報)

安否確認の名簿(組別)の整備

下瓦屋南町

被害状況や町会の対応について	
瓦が飛ぶ	屋根瓦2割飛ぶ
2階のバルコニーが飛ぶ	2階のシャッターが壊れる。
町全体の7割に被害あり。	庭がゴミの山になった。
電気が止まって水も止まった。	窓のガラスが飛んで、また物で割れる。
水洗トイレの方が井戸の水を使用した。	手洗いは水が止まらなかったのでよかった。
ガスはプロパンで使用することができた。	

刀スはノロバンで使用することかできた。

棟の瓦と普通の瓦も飛びましたが、未だにそのままです。

物がたくさん飛んできました。市の方に対応してもらいました。

屋根瓦スレート瓦、倉庫の屋根瓦、とい(とゆ)が外れる。

電気が止まって水道が出なくなってトイレに苦労しました。

電気が止まって住宅の水道が止まり、飲み水又トイレが不自由しました。

困った事・課題

インターネット・パソコン・テレビ切れる。 | 災害ゴミの対応

あまりにも被害が多くて修理が遅くなっている。

解決策

水洗トイレの水の確保のため手押しポンプがあったら良いと思います。

町内の何軒かの家で集めたゴミを、市の方に取りに来てもらうように言う。

今後の予定

車のバッテリーを利用する。 絆づくりをもっと勧めていきたい。

災害ポンプの点検(水)

新家町

被害状況や町会の対応について

町全体では被害が少なかった。 |しかし台風通過のち被災ゴミが発生しました。

被災については瓦・スレート等ありましたが停電はありませんので町会の対応はしており ません。

民生委員はひとり暮らし高齢者の安否確認困りごとの相談に応じた。

→罹災証明の申請の手伝いをした。

困った事・課題

市の対応が遅い	青年団の若い人の助けが欲しい。
長坂小学校が開設されていなかった。	新家町は停電などなかった。

一人ぐらしの高齢者がいつどこに行けばいいか戸惑っていた。

暑い時期だったので町会館を解放して近隣町会の住民の方の休憩所に開放してはどうか。

解決策

各町会で助け合う体制づくりが必要

ブルーシートの配布について

○インターネットなどで配布を知らせるが高齢者などわからない

○町会単位で配布して欲しい

〇町会で必要なものブルーシート土のうなど配布して欲しかった。

今後の予定

11/4 防災訓練において台風 21 号について考えることをテーマにします。

鶴原北住宅•見出住宅

被害状況や町会の対応について		
駐車場やあちこちの木が倒れた。	市から TEL がつながらなくなった。会長	
集会所のアンテナが飛ばされた。	JCOM 電話普通 テレビ	
窓ガラス割れる 1 件	掲示板破損3件 拡声器被害3機	
困った事・課題		
身の回り物固定		
解決策		
断水の為に浴槽に水を溜めておく	オール電化の家はカセットコンロが役に立つ。	
今後の予定		
月一度の安否確認の訓練が全員参加できるようになる。		
非常食は1人3日分程度準備しておく。	乾電池は常備しておく	



日根野地区・地域の暮らしを話す会

日時: 平成30年11月17日(土) 19時00分~20時30分

場所: 日根野町会館

参加人数:38名(東上/4名、久の木/4名、中筋/5名、西出/3名、

野口/1名、西上7名、新道出/4名、野々地蔵/7名、俵屋/3名)

テーマ:福祉委員会主催の活動について振り返ろう~次年度の役員改選に向けて~

☆各支部の活動について平成29年度実績を元に振り返りを行う。

その後、下記のワークを行い、完成したものを再度冊子にまとめ、引き継ぎ書を作成。

下記掲載分はワークの一部抜粋である。

東上

うまくいったこと・よかったこと		
顔見知りが増えて良かった	いきいきサロンに参加するのが楽しみ	
年 1 回のクリスマス会の参加を楽しみにしている		
課題だと思うこと・しんどかったこと		
連絡を一斉にしないと苦情がくる	訪問すると話が長い人がある	
一日人に合っていない!!時が多い	訪問した時に喜んでいただく時もある	
任期を終えるにあたって、次の役員の方へメッセージをお願い致します		
どんな時であれしんぼう強くおつきあいを!		

久の木

うまくいったこと・よかったこと	
どこの子どもさんか少しは認識	大人・知り合いが出来た
事故がなかった	役割を担うことがボケ防止になる
町内の絆ができた	
課題だと思うこと・しんどかったこと	
家庭訪問留守あり	新規転入が多い
町会員以外の方と接点がない	災害時の対応が不安
名簿が出来ていない不明確	家族構成が不明
任期を終えるにあたって、次の役員の方へと	メッセージをお願い致します
正確な名簿が必要	良い習慣は継続してほしい
見守り隊・世代間交流	役員の協力体制
町の会議体への参加	

西出

うまくいったこと・よかったこと		
<個別支援活動>		
市報配布時の現況報告書によって会議にて支援策を検討		
<グループ支援活動>		
見るより参加型		
課題だと思うこと・しんどかったこと		
<個別支援活動>		
町内の対象者は組長さんでうまく見守ってくれている		
町外の対象者の確認で困難な人有り		
<グループ支援活動>		
今は町会の人だけの参加であるので、町外の人の参加を呼び掛ける		
催し物の選択が困難		
任期を終えるにあたって、次の役員の方へメッセージをお願い致します		
頑張って続けてほしい	困ったら社会福祉協議会へ行け	

中筋

うまくいったこと・よかったこと		
楽しんでもらえた	作品の出来上がりが楽しみ	
交流が深まった	毎年楽しみにしてくれている	
課題だと思うこと・しんどかったこと		
食事の準備が大変	食事のメニューがマンネリ化	
参加者の顔ぶれが同じ⇒新たな参加者を集める		
任期を終えるにあたって、次の方へメッセージをお願い致します		
カラオケセットを市に申請	役員の協力体制	
新たな催しを考える⇒元気体操・カラオケ同好会・100 円カフェ		

野口

うまくいったこと・よかったこと	
高齢者の方たちのつながりができた	子ども達と高齢者の方との交流がよかった
一人暮らしの高齢者から喜ばれたこと	
課題だと思うこと・しんどかったこと	
納涼大会での提供食品の準備が大変である	
任期を終えるにあたって、次の方へメッセージをお願い致します	
大変ですが、終わったら喜びがありますので頑張って下さい	

西上

うまくいったこと・よかったこと		
新しい参加者加入	ボランティア活動参加者増加	
絆(交流)が出来た		
課題だと思うこと・しんどかったこと		
参加者の固定化	参加人数が少ない	
夜で足元が不安		
任期を終えるにあたって、次の方へメッセージをお願い致します		
活動を継続してほしい		

新道出

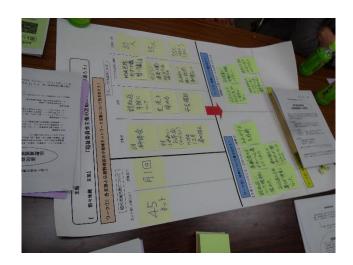
うまくいったこと・よかったこと	
クリスマスプレゼントは大変喜ばれる	パソコン教室参加者に大好評!
お楽しみ会は参加人数が多い	
課題だと思うこと・しんどかったこと	
参加人数を増やしたい	男性の参加者を増やしたい
いきいきサロンのメニューを増やしたい	
任期を終えるにあたって、次の方へメッセージをお願い致します	
子ども参加イベントを考えてほしい	独居高齢者が集合する機会を考えて
カフェ検討	

野々地蔵

うまくいったこと・よかったこと		
認知症について理解を深めた	高齢者の方が大変喜んでくれた	
おみやげも大好評	子ども達とお年寄りが仲良くなった	
寄せ植えの手入れが楽しみになったようだ		
課題だと思うこと・しんどかったこと		
65 歳以上の方は元気なので留守が多い	民生委員の活動を理解してほしい	
町会未加入のマンション等については代表(連絡係)を作ってほしい		
見守りは 70 歳以上に引き上げてほしい		
任期を終えるにあたって、次の方へメッセージをお願い致します		
カフェを計画中。前向きに進めて下さい		



うまくいったこと・よかったこと	
毎回楽しくしゃべってくれる	喜んでくれる
カラオケ新曲を楽しんでいる	
課題だと思うこと・しんどかったこと	
食事会の人数の把握	留守の時心配
任期を終えるにあたって、次の方へメッセージをお願い致します	
活動はしんどいが、笑顔を見るとやりがいを感じる	



南中地区・地域の暮らしを話す会

日時: 平成30年11月5日(月) 19時00分~20時30分

場所: 南部市民交流センター

参加人数:22人(安松/8名、岡本/5名、樫井東/4名、樫井西/5名)

テーマ:台風21号を振り返る~あの時私は…~

安松

ワーク①) 困ったこと	
アンテナが飛び TV が見れない	テレビが映らなかった
テレビがダメだった(J:COM)	電話が通じにくかった
風が大変強かった	放送時言葉が聞き取りにくい
避難場所の確認を明確にする	停電になった。電話が出来ない
停電で風呂に入れない。冷蔵庫が使えない	屋根、瓦が飛んで雨漏り
トイレの後始末の件(水洗)	瓦礫が多く発生し、道が狭くなる
安否確認が出来てない	復旧が進まなかった
植木が倒れて大変やった	町会員以外はどうする
停電等で道路などが動きにくかった	窓にガムテープを貼った後取れなかった
ワーク②)嬉しかったこと、有難かったこと	
ドコモ携帯電話に再三情報知らせてくれる	市の支援体制がすぐ出来た
のが大助かりです	
災害ゴミの捨て場がすぐに出来た	停電しなくてよかった
停電がなかったので人助けをしました	近所の家へ風呂など入れてもらった
断水しなくてよかった	携帯の充電をさせてもらった
瓦礫置き場は協力して整理していた	雨漏りがなかったこと
髙いブロック塀が倒れなくてよかった	被害のゴミを数力所に運べた
ワーク③)自主防災組織の振り返り(良かった点)	
ゴミの集積場所 4 箇所の連絡をしてくれた	罹災証明の発行案内をした
今回は組単位で活動(通知)した	炊き出し班等必要なかった
近所のコミュニケーションができた	近所の見守りをした
救護班も必要なかった	連絡班として組長単位で連絡した
ケガ人が出たら救護できる?	
ワーク③) 自主防災組織の振り返り(見直したいこと)	
各種団体に要望しなかった	台風瓦礫以外のゴミも出ていた
自主防災組としての役割が機能していない部分も	
ワーク④)今後に向けて	
自主防災の立ち上げ時期の決定	電話で各家に班ごとにたずねてあげる様に
	したらいいと思う

町会館の耐震化が望ましい。避難場所にし	避難所が遠すぎる
たい	
避難所開設すれば組織通り炊き出しできる	独居老人の瓦礫片づけを手伝う

岡本

ワーク①) 困ったこと	
停電したので困った	後片付けが困った
電話がつながらなくて困った	放送が聞こえなかった
屋根に木がひっかかった	雨漏り
処理が進まない	破損した物の処理
風が強く会館(避難所)まで出向くのが困	近い人にはいいが、遠い人には気の毒だっ
難	た
瓦礫が船岡公園に仮置きされたが、台風 21	号に無関係な物も多かった
市の支援が判りづらい	対応が遅い(他の市より)
避難者が少ない(良・否)	修理費用、業者が見つからない
停電で生活が困窮した	台風後の処理の人手不足(片づけ、補修、
	応急処理)
市が罹災証明書をなかなか出してくれなか	業者も見積りの出も相当遅かった
った	
停電により風呂(電気湯沸かし)がダメ、た	ブスはプロパンで OK
ワーク②)嬉しかったこと、有難かったこと	
市からブルーシートの配布があったのは助	道路の汚れ早く掃除してくれた事
かった	
破損物の処理場所の設営してくれた	消防団の人が車で回って片づけしてくれた
近所の人、一緒に山の木など片づけした	自営(町会)消防団、各種団体の青年部に
	よる道路(交通障害)の改放を速やかに処
	理した
ワーク③)自主防災組織の振り返り(良かっ	った点)
自主防災組織主に消防団、青年団、睦会など	どの若者達が避難にいち早く出向いてくれた
(手弁当)	
瓦礫等が道路などをふさいでいる所は消防団等が集めて撤去し、船岡公園を仮置き場に	
した	
ワーク③)自主防災組織の振り返り(見直したいこと)	
地震が主で水害にも対応させるように	組織の若返りが必要。人手不足が現状(役
	割が多すぎる)
地震を想定した自主防災と捉えられている。	台風、水害にも組織への拡大をすることが
(必要)	

ワーク④) 今後に向けて

各地区でボランティアを集って、災害時に参加したメンバーには市などから補助、会社 なども有給休暇扱いとなるようにしてほしい

樫井東

ワーク①) 困ったこと	
復旧資材不足	停電
携帯の充電不可	停電による食料保存難
ワーク②)嬉しかったこと、有難かったこと	
神社境内の片づけの積極的な応援	廃材分別の徹底
分別看板の迅速な設置に感謝	レッカー調達の協力
ワーク③)自主防災組織の振り返り(良かった点)	
過去の防災訓練の実施	防災組織による情報や知識の発信
防災意識の高まり	
ワーク③)自主防災組織の振り返り(見直したいこと)	
防災備品の充実	防災備品、備蓄倉庫の設置
ワーク④)今後に向けて	
炊き出し用品の用意	台風後の安否確認方法の模索

樫井西

ワーク①) 困ったこと	
停電	断水
電柱が倒れたりした	瓦が道に散乱
食糧不足	風呂に入れなかった
充電できない為不通	
ワーク②)嬉しかったこと、有難かったこと	
町内の罹災証明の写真撮影	水の配給
近所の助け合い、声かけ	独居の方の避難案内
台風のゴミ置き場確保	インスタント食品配給
独居の方の避難送迎	
ワーク③)自主防災組織の振り返り(良かった点)	
役割分担が出来ており各種団体が一つになった事	
ワーク③)自主防災組織の振り返り(見直したいこと)	
完璧でした	
ワーク④)今後に向けて	





中央地区地域の暮らしを話す会

日時 : 平成30年11月10日(土) 10時30分~12時00分

場所 : 松風台自治会館

参加人数:11人(市場町2人、松風台3人、日根野西1人、葵町3人、中町2人)

テーマ :

【各支部チーム】 『地域の防災 今年の災害経験(台風21号)の教訓を

活かそう~将来に備えるために』

市場・松風台支部

これまでの災害対策について

現在の状況について		
自主防災委員会を立ち上げたが、具体的な活動はできていない。		
備蓄品として草刈り機2台、電気コード(20m)、飲料水500ccは備わっている。		
これまで特に災害対策はして	ていない。	屋根瓦がまだ完全に修理できていない。
高齢者の安否確認。		危険箇所の把握。
高齢で独居宅の災害ゴミ回収を実施した。		
しんどかったこと、課題だと思ったこと(台風21号の振り返りも含めて)		
要支援者の対象の把握。 人集めをどうするか。		
自分、自宅の被害で精一杯が	だった。	ゴミを出す場所を統一する。
災害ゴミと生活ごみを完全に分ける。		
廃対等を出す場合は、先に決められた場所を決定してほしい。		
発電機が必要。	水源の実施把握。	

これからの取り組みについて

改善したいこと、新しく考えていきたいこと、発展させたいこと		
支援体制づくりや支援対象者の明確化。		
独居高齢者の安否確認をどうするか具体化する。		
日頃から想定外のことを考えておく。 個人宅の備蓄充実、周知。		
各家庭が防災に対する意識改革。		
緊急時、いかにして連絡をとれるようにする	が、 携帯電話の充電保持。	

中町・日根野西支部

これまでの災害対策について

現在の状況について

屋根や壁の被害がそのままである。

災害の経験不足。

「瓦礫などを捨てる場所が分からない。

泉佐野市では3年前から防災訓練がはじまった。

課題だと思ったこと、しんどかったこと(台風21号の振り返りも含めて)

市民の防災意識。

瓦礫の処理方法について。

役員さんが仕事のため動けない。

一人暮らしの高齢者以外も、高齢者だけの家族は後片付けが大変だった。

避難場所で受付をしとく。

これからの取り組みについて

改善したいこと、発展させたいこと、新しく考えていきたいこと

防災訓練などを通して防災意識を向上させていく。

各自の自助で3日~4日備蓄すること。

水、非常食、ブルーシートの確保。

語り部さんのお話をよく聴く。

葵町支部

これまでの災害対策について

現在の状況について

緊急情報での避難の補助。 - 人暮らしの家の瓦がはがれて困っている。

一人暮らしの高齢者宅などへの見守り、巡回。

葵町町会により対策(防災委員)

課題だと思ったこと、しんどかったこと(台風21号の振り返りも含めて)

ブルーシート張りが出来なかった。(1週間以上)

家の修理の業者がいない。

停電が長かった。(5日)

これからの取り組みについて

改善したいこと、発展させたいこと、新しく考えていきたいこと

被害の見守りができるように。

一人暮らしや他への見守り。

復旧を早くしてほしい。

行政で瓦の備蓄をしてほしい。

業者の手続きがスムーズにいくように。

二小地区・地域の暮らしを話す会

日時: 平成30年10月26日(金) 19時00分~20時15分

場所:高松総合会館

参加人数:14人(高松3、高松東3、高松北3、上町3、大西1、大宮1)

テーマ: 防災について

高松チーム

『防災について』

今まで行ってきた活動について	
現在の状況について	
予想を超えた油断があった	防災訓練に参加
防災活動をあまりしてこなかった反省	
課題だと思った事・しんどかったこと(台風 21 号のふりかえりも含めて)	
軽トラ不足	事前に役割分担
役所との連絡不足	近い将来が心配
住民の周知方法を話し合う	住民の意識改革を
町の組織が横の連携を取る	独居高齢者へのアプローチを確認する
これからの取り組みについて	
改善したいこと、発展させたいこと、新しく考えていきたい事	
住民の周知の徹底を	助け合いの心の育成を
スムーズにごみ回収	独居者の見廻り
作業を共有(謙虚に)	隣組で協力関係を
軽トラを複数台確保する	安全を知らせる黄色いタオルの徹底
赤いタオルは?	

高松北チーム

『防災について』

今まで行ってきた活動について	
現在の状況について	
消防団の訓練にひとりひとり消火器で火を消して実感しました	
防災訓練の日に班長さんと組長さんに黄色のタオルの確認を 9 時~9 時 30 分でおこな	
い会館まで連絡するように依頼	
一昨年は消火器の使用訓練	昨年は被災時の人命救助 AED の使用訓練
課題だと思った事・しんどかったこと(台風 21 号のふりかえりも含めて)	
避難所でテレビ見たかった	一人暮らしの人が瓦いっぱいで困っていた
ブルーシートをおいておこうと思った	
水や大切な者をまとめて置いておくことを知りました。	

ゴミ集積場に台風被害でないゴミがたくさん持ち込まれたモラルの問題

日頃の付き合いも無い人でも台風や困ったことがあると助け合いの心が広がっていた

一人暮らしの安全確認するリストが自治振興課と福祉課とで違う。守秘義務を要請しているので情報交換ができない

これからの取り組みについて

改善したいこと、発展させたいこと、新しく考えていきたい事

集合住宅は停電をするとポンプが止まるので断水となる。非常用電源を備えておく必要がある

町会役員と民生委員は各地域においては連携しているが、役所内ではバラバラ。統一すべき。

高松東チーム

『防災について』

今まで行ってきた活動について

現在の状況について

自主防災組織を立ち上げているがこれといった活動は出来ていない

課題だと思った事・しんどかったこと(台風21号のふりかえりも含めて)

工事代が高い

瓦が無いので修理ができない

瓦礫の置き場が近くになく運ぶのに大変なので近くに置かれた

道路にクギ、割れたガラスが散乱して車のタイヤが4本パンクした

停電には大変困った

これからの取り組みについて

改善したいこと、発展させたいこと、新しく考えていきたい事

瓦被害を少なくする方法?

町内でブルーシートのストックが望ましい

大西、大宮、上町混合チーム

『防災について』

今まで行ってきた活動について

現在の状況について

久しぶりの災害に目が覚めた。災害について無関心すぎた

防災組織は出来ているが、まだどう動いて良いかわからない

昨年など市の防災に参加したが誰が何の係かでも紹介したらよかった

防災訓練時に、地区一か所に集まって佐野高校まで歩くだけでは意味がないのでは

課題だと思った事・しんどかったこと(台風21号のふりかえりも含めて)

町会の役員さんに片付けの仕事が集中する 町会長に対する電話の多さ

防災放送の聞き取りができない

ゴミの仮置き場の選定

ホームページを誰もが見ているとは限らない

市役所に電話しても「つながらない」との電話が多数あった(町会長)

市のアナウンス。遠くでもないので何を言っているかわからない

市役所のマイク放送が小さく、声が割れて聞きづらい

特に台風 21 号時は、風邪の向きで全て聞こえない

会員から「ゴミの置き場所が分からない」などの電話が多数あった

ゴミの処理をしてほしいと要望があり手伝いに行った

市役所から「ホームページ」を見てほしいとのことだが、ホームページを見ることができない

これからの取り組みについて

改善したいこと、発展させたいこと、新しく考えていきたい事

町会役員の集合

行政がもう少し考えていただきたい

町内の隅々まで組織がいきわたっていない

若い人の組織(ex青年団のないところ)が無いところは隣組などが動けるようにする

災害時、どんな手順で何をやっていくか町内に案内をすみやかにする



作成者:社会福祉法人 泉佐野市社会福祉協議会

作成日:令和元年8月

この冊子は、《泉佐野市安心生活創造推進事業》に基づく補助金によって作成しました。